

2025（令和7）年3月

保護者 様

一宮市立大和東小学校長  
長谷川 伸弘

## 学校評価「教育活動に関するアンケート」のまとめについて

早春の候 保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

過日には、ご多用の中、「教育活動に関するアンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございました。アンケート結果から、学校として特に参考とさせていただいた点について下記のように報告させていただきます。

なお、アンケートの詳細につきましては、本校のウェブサイトに掲載させていただいております。今後とも、児童が楽しく安全に登校できる学校、保護者や地域の皆様に信頼される学校をめざして、努力してまいりますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

### 記

#### 1 全体的な傾向について

児童にとって最適な方法を考えて学校教育を進めています。これまでの教育活動で効果があったものは継続して取り組み、改善すべきことに関しては、保護者や地域の皆様の協力をいただき進めてまいりました。これからの時代に必要な対応はどんなことかを見極めていくうえで、全体的な傾向をまとめ、分析をしていくことは重要と考えます。

アンケートは質問に対し、**A**「あてはまる」**B**「どちらかといえばあてはまる」**C**「どちらかといえばあてはまらない」**D**「あてはまらない」**E**「わからない」の5つの中から答えていただく形式で行いました。回答のうち、**A**と**B**を合わせて「肯定的な回答」として分析しています。また、以下の文章では、文字数の関係で**A**「あてはまる」と表現したいところを**A**と記号だけで示します。

まず、児童アンケートでは、「肯定的な回答」の割合が80%を超えた項目は、20問中18問でした。保護者アンケートでは、「肯定的な回答」の割合が80%を超えた項目は、26問中24問でした。教職員アンケートでは、「肯定的な回答」の割合が80%を超えた項目は、20問中18問でした。

#### 2 教育活動に関する項目について

##### ① 学習活動について

児童の「授業の内容は分かる」の問いに対して、「肯定的な回答」は94%でした。また、保護者の「お子さんは授業が分かりやすいと言っている」の問いに対して、回答の割合は昨年度より減ってはいるものの「肯定的な回答」は91%でした。対して、教職員も「肯定的な回答」の割合は高いものの**B**を選択している割合が高くなっています。児童や保護者から「わかりやすい」と評価されていることを自信にして授業経営を行わせていくとともに、教職員が描く理想に近づく授業経営が行えるよう現職教育を充実させ、力量向上をさせていけるよう計画していきたいと思えます。

対象	質問内容	R6	R5	R4
児童	授業の内容は分かりますか。	94%	93%	89%
教職員	児童は、授業内容を分かっていると思いますか。	97%	96%	94%
保護者	お子さんは、授業がわかりやすいと言っていますか。	91%	94%	90%

## ② 学習以外の活動について

児童の「スポーツ大会などの学校行事は楽しい」の問いに対して、「肯定的な回答」は92%でした。本番は学年別で実施はしていますが、今年度新たな取り組みとして、児童鑑賞の時間を設定し、全校で「時間」と「思い」を共有する時間を取り入れたことが結果につながったと考えます。保護者から、「コロナ禍前のような運動会の形に戻してほしい」というご意見をいただいています。しかし、それ以上に保護者が密にならず安全に参観できる現状を望むご意見も多いため、次年度以降も学年別で行うスポーツ大会を継続していきます。ただ、今年度実践した全校児童で「時間」と「思い」を共有できる体験は継続して大事にしていきます。

対象	質問内容	R6	R5	R4
児童	スポーツ大会などの学校行事は楽しいですか。	92%	91%	84%

## ③ 生活面に関する項目について

### ① 「自慢できる通学班」に関する項目について(R6 新設内容)

「自慢できる通学班」を合言葉に、安心・安全に登下校することを目標にするよう児童に話してきています。「肯定的な回答」の割合が78%にとどまっているのは、残念な結果ですが、子どもたちだけでよくがんばっているという評価をすることもできます。

ただ、班長を含む高学年の回答の割合の方が低学年の回答の割合よりも低いという結果も明らかになりました。高学年に負担をかけるのではなく、すべての児童に合言葉である「自慢できる通学班」の具体的なイメージを共有することで、お互いに安心して安全に登下校できる関係性を築くよう考えさせていける取り組みをしていきます。

### ② あいさつに関する項目について

児童の「あいさつできているか」の問いに対して、「肯定的な回答」は92%でした。ただし、保護者や教職員の回答は児童ほど高い割合にはなっていない。児童にどんなあいさつができるか、とよいかを考えさせることで、形だけでない心の通うあいさつができるように継続的に働きかけていきたいです。

児童の「ありがとうやごめんなさいが言えるか」の問いに対しても、「肯定的な回答」は96%と高い割合でした。あいさつのアンケートほど教職員の割合と差はないが、心から相手に伝えることの大切さを考えさせる声掛けを続け、児童を支える周囲の大人からも認められる結果となるよう支援を続けていきます。

対象	質問内容	R6	R5	R4
児童	あいさつができていますか。	92%	87%	86%
教職員	児童は、あいさつができていますか。	52%	70%	85%
保護者	お子さんは、あいさつができていますか。	85%	81%	77%
児童	「ありがとう」が言えていますか。	96%	96%	93%
児童	「ごめんなさい」が言えていますか。	96%	96%	94%
教職員	児童は、感謝の気持ちを「ありがとう」と言葉で表すことができていると思いますか。	86%	81%	85%

### ③ 児童の心の育成にかかわる項目について

児童の「先生は、みなさんの話を聞いてくれるか」と「先生に相談があるときは、なんでも相談できるか」の2つの問いに関して昨年度と同様の高い割合でした。特に **A** を選ぶ児童の割合が10%以上増えているだけでなく、保護者の「お子さんのことについて適切に相談に応じている」の問いについても昨年より「肯定的な回答」の割合が増加しています。また、教職員もこれらにかかわる問いに対しても「肯定的な回答」をしており、児童に対する丁寧な指導が児童だけでなく保護者にも伝わっていると傾向が読み取れます。現状に甘えることなく、この状況を続けられるよう、児童のために真摯に取り組んでいける教職員集団でありたいと考えています。

対象	質問内容	R6	R5	R4
児童	先生は、みなさんの話を聞いてくれますか。	96%	97%	90%
児童	先生に相談があるときは、何でも相談できますか。	87%	86%	73%
教職員	児童は、心身の状態について気軽に先生に相談できていると思いますか。	93%	85%	94%
教職員	児童からの相談に適切に対応していますか。	100%	89%	100%
教職員	いじめのない学級づくりに取り組んでいますか。	100%	100%	100%
保護者	本校の教員は、お子さんのことについて適切に相談に応じていると思いますか。	91%	88%	88%
保護者	本校の教員は、お子さんのことを理解していると思いますか。	91%	90%	88%
保護者	本校の教員は、児童の良い点や努力したことを公平に評価していると思いますか。	90%	88%	84%
保護者	本校の教員は、いじめや問題行動について、適切に指導していると思いますか。	82%	77%	74%

## 4 保護者の感想と応援の声から紹介したいこと

### ① スポーツ大会の2学年ごとの開催について

「コロナ禍前の運動会に戻してほしい」という意見をいただいておりますが、次の理由で現状の2学年ごとの開催を継続していきたいと考えています。

- 全体で行う練習時間をなくすことで、児童の体の負担軽減や授業時間の確保をすることができるため。
- 2学年ごとの開催を行うことで、保護者の密を回避することができているので、参観しやすいという意見が多数寄せられているため
- 市で行っていた特別支援学級の「手をつなぐ子らの運動会」がなくなった現状で、本校の時間配分で行うと、「特別支援学級の部」を実践することができ、児童の活躍させる機会を作ることができるため。

ただ、2学年ごとの開催を継続するうえで以下の内容が話題となります。

- 写真撮影時などで保護者の入れ替わりがうまくいくための方法  
→ 学年の入れ替わりや写真撮影のタイミングで声掛けのナレーションをいれるので、入れ替わりにご協力お願いします。

- お子さんの学年が時間をまったく場合の待機場所がない問題  
→ お子さんが例えば、1年と2年に所属しているような場合は問題ないが、3年と6年に所属しているような場合は、結局1日ということになってしまいます。午前中にすべてを行う日程で行くと各部の時間を短くする必要があったり、特別支援学級の部ができなくなったりすることになります。現状としては、今年度の方法での開催にご理解いただくようお願いしたいと考えています。

## ② 学習発表会について

学習発表会は、児童の一生懸命さが伝わる行事となりました。次の内容が紹介したい内容です。

- 児童がくじを引き、座席指定で保護者に参観していただいた。前年度と違い、全保護者が椅子に座っての参観となったため、特に床に並んだ1列目の児童が見えないということになりました。この計画になってしまったこと、本当に申し訳ありませんでした。来年度にこの反省を生かして運営していきたいと思えます。
- くじ引きによる座席指定については、当日ゆとりをもって見るのができたが高評価の感想が多かったため継続していきます。ただ、会場のA（前）とB（後ろ）ゾーンの入れ替わりについては、スムーズに行えるよう、次年度に改善を図りたいと思えます。
- 金曜日授業参観、土曜日学習発表会の連日の日程については多くのご意見をいただきました。平日開催ではなく、土曜日開催を望む声も少なからずいただいておりますが、土曜日開催した行事は平日開催の行事より欠席者が多いという実態があります。せっかく仲間と切磋琢磨して努力しても最後の最後で一緒に達成感を味わうことができないということが起きています。

今後、中学校の部活動地域以降の流れでもわかるように、土曜日と日曜日は、学校以外でも活躍することができる日になるため、どちらかを選ばなくてはいけない場面がさらに増えることが予想されます。そう考えると、学校の行事は平日に行う方がよいこととなります。そのため、本校としては、次年度以降、平日に行事を行っていくことを基本として考えていきます。ただ、できるだけ月から金で曜日を分散して行事を計画をする工夫もしていきたいと思えます。このことについては、ご理解をどうぞよろしくお願い致します。

- 合唱と劇の隔年での開催を希望する意見がありますが、次のことが問題となります。
  - ・ 劇を行うと、合唱で行うより体育館が授業で使えなくなる。
  - ・ 準備の時間が増え、授業時数の確保が難しい。

この問題を解決させるために、昨年度より毎週金曜日の朝にハーモニータイムを実施し、児童の心を育みながら、年間を通じて行事の準備を進めていっています。したがって、合唱での学習発表会を継続させていただきます。

## ③ tetoru でのお知らせのデジタル配信だけでなく、紙媒体でもお知らせを配布することを希望されることについて

学校では、デジタル化を図ることで、紙の購入費を削減し、その他の必要経費にまわす努力をしています。「保健だより」よりも「行事予定」を紙媒体でほしいという意見をよく聞きます。

保健だよりを紙媒体で印刷した理由は、「保健だより」の配布時に、児童に保健指導を行っているからです。保健だよりにかかわらず、児童自身にプリント配付時に指導をしていきたいものについては印刷をしていました。それ以外のものは、ホームページでの紹介も含めできるだけデジタル化を進めています。行事予定については、児童は情報を常日頃、担任からの連絡や連絡帳で確認することができるため印刷していませんでした。

今回いただいたご意見について検討し、次年度は、これまで印刷して配布時に指導をしていた内容をクロムブックで閲覧できるように方法を改善し、児童に紙媒体でなくてもデジタルで見させて指導していく形にしていきます。

ですので、tetoru を利用した情報発信にご協力いただき、ご理解をお願いいたします。そして、配信させていただく内容についても厳選していきますので、ご確認よろしくお願ひします。